

# MAST

Mikawa Akabane Shizuoka Toyohashi

岡崎教区広報誌  
2026年1月

第15号

発行所／真宗大谷派岡崎教務所  
発行人／錦 秀見  
編 集／教区教化委員会メディア部会  
印 刷／プラザー印刷株式会社

## 宗議会議員就任挨拶

共学研修室開講1年を迎えて

「釈迦誕生図」絵解き

てら活（お寺の活動紹介）

岡崎教区青少幼年教化通信

# 宗議会議員就任挨拶

このたび、宗議会議員が改選され、岡崎教区から3名の議員が選出されました。向後4年間、宗門の運営に尽力いたします。



## 宗議会議員とは

真宗大谷派の最高議決機関「宗会」の議員。宗会は僧侶（有教師）から選出された宗議会議員によって構成される「宗議会」と、教区門徒会員から選出された参議会議員から構成される「参議会」によって組織される。

先般、9月の宗議会議員総選挙において、4回目の当選をさせていただきました。

近年は災害の頻発などもあり、災害対応も宗門の課題となっています。また長期的には人口動態の予測などに基つき、「宗門財政の縮充化」をはじめとして行財政を含む宗務改革・構造改革が喫緊の課題となっています。大谷派宗門が将来にわたってお念仏の教えを伝え続ける宗門として存在するため、将来も持続可能な基础设施整備を行わなければなりません。

宗門が大きな転機を迎えているこの時期に、宗門の現実を直視し、引き続き宗門に対する責任を担つてまいります。多くの声に耳を傾け、皆様方とともに同朋社会の実現に力を尽くしてまいります。

第4組  
藤井 宣行



先般、9月の宗議会議員総選挙において、4回目の当選をさせていた

このたび、宗議会議員4期目を迎えることとなりました。4期目も次のような願いを持つて宗議会に臨みたいと思います。

一つは、「同朋会運動」について。本来、大谷派の同朋会運動は、単に信仰運動ということではなく、教学に根ざした運動でありました。しかし、それを見失っている宗門の現状があるように思います。言い換れば、同朋会運動は、教団を守る運動ではなく、教団を挙げての教学運動、大乗佛教運動であったと言つてよいでしょう。だからこそ、人類に捧げる教団」と言われたのです。

今一つは、「同朋の公議公論」の実現に向けて。より多くの宗門構成員の意見を柔軟に反映できる形に変えるご鞭撻を賜りますよう、心よりお願ひ申しあげます。

第25組  
杉浦 明道



このたび、宗議会議員4期目を迎えることとなりました。4期目も次

人の宗政参加を促すための基本的な土壤整備が必要であるといつゝことです。これらの課題をもつて同朋会運動を推進させたいと考えております。

第34組  
一郷 真



このたび、はからずも宗議会議員を拝命し、9月の就任以来、毎月京都での議員活動が始まりました。

その中で宗議会は単なる「制度」ではなく、宗祖のみ教えを未来へ運ぶための大切な「道場」であると感得しています。

その一端を担わせていただくことに深く感謝し、愚直ながら誠実に、そして学び続ける姿勢を忘れず、任期を務め上げる決意です。

どうか今後とも、皆さまのご教導・ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願ひ申しあげます。

南無阿弥陀仏

# 共学研修室開講1年を迎えて

2024年12月に岡崎教区の教学研鑽機関である共学研修室が開講しました。月1回開催し、約1年経ちました。このまでの歩みを研修室補導(スタッフ)と研修生それぞれ1名に振り返つていただきました。

共学研修室補導  
藤原 傳良  
まつだいら とくらじょう  
松平組徳山寺  
まつだいら とくらじょう



2024年12月に始まった共学研修室も、ようやく1年を迎えるました。修室も、ようやく1年を迎えた。15名の研修生をお迎えし、本当に充実した学びを続けています。この研修室は、

①事前学習・次回講義範囲について研修生がレポートを作成し、班ごとに学び合つ。

②講義と座談・講師である鶴見晃

先生(同志大學教授)より正信

偈の講義を受け、さらにまた座談で深め合つ。

最寄り駅から3本乗り継ぎ片道3時間、教務所まではちょっととした小旅行という、教区の端っこから参加

を繰り返しますが、①で160分、②でも座談8分と、かなりの時間話し合います。始めは、こんなに長く話し合え

るものだろうかといつ不安がありましたが、全く杞憂でした。研修生の皆さん本当に真摯な思いに支えられて、中味の濃い、充実した話し合いが続けられてきたと思います。私自身、真宗についてこんなに真剣に、こんなに長く時間をかけて話し合いをしたことは初めてのようだと思います。皆さんが思いを込めて、自分の言葉で語られる姿に喜びを感じ、また毎回新たな発見に出会わせてもらっています。

2024年12月に始まった共学研修室も、ようやく1年を迎えた。15名の研修生をお迎えし、本当に充実した学びを続けています。この研修室は、

2024年12月に始まった共学研修室も、ようやく1年を迎えた。15名の研修生をお迎えし、本当に充実した学びを続けています。この研修室は、

共学研修室研修生  
植田 誓子  
うえだ せいこ  
第35組西念寺



していいる。鶴見先生の講義も、立場・世代を超えた研修生・スタッフの方々との座談も楽しくて、移動時間も苦にならず通つてている。

しかしそれに行われた課題の中間発表は苦しい時間だった。今の自分自身と向き合つこと、それを偽りなく言語化し他者に晒す」と、その難しさを痛感した。言葉によって自分を正当化し、脚色し、「正解」を探ることが常態化している自分を突き付けられた。それだけは避けようとした結果、稚拙で書きなぐりの、誰より短い文章の提

出となつてしまつたが、私にそれをさせたのが、この共学研修室という場なのである。

その日、帰りの新幹線で皆が寄せてくれた感想用紙を読みながら、また言葉にならない感情になり、缶ビールを片手に涙したことをここで告白します。

「教えを学ぶのではなく、教えに学ぶ」開講から1年、ようやく学びのスタートラインに立つたような気がする。共に学びあつ場へ向かう、次の小旅行も楽しみだ。



室長：本田 康英 氏



講師：鶴見 晃 氏



班ごとに行う  
座談のようす



# 「糺迦誕生図」 絵解き



ほんしょうじ  
第16組本證寺  
おやま こうえん  
小山 興円

住所：安城市野寺町野寺  
26番地

毎年4月8日は「花まつり」です。全国で美しい花御堂に誕生仏を安置し、甘茶をそそぎ、お釈迦さまのご誕生をお祝いします。

お新迦さまは今から2600年前のインド（ガーピラバストゥ）にお生まれになられました。父は釈迦族の王スッදーダナ（浄飯王）、母はマーヤー（摩耶夫人）でしたが、お二人には長く子がありませんでした。

ある日、マーヤ夫人は不思議な夢を見ます。6本牙の白象が自分の周りを3回廻って右脇からスッと入つたのです。夢から覚めた夫人は、新しい命を懷妊していました。

臨月となり、お産のために実家の「オリヤ国に帰る途中、ルンビニーの花園で休憩をとられました。真紅に咲き誇るアソーカ（無憂樹）の一分枝を手折りんとして右手を挙げたその時、夫人の右脇からお釈迦さまはお生まれになりました。



▲ 釈迦誕生図（本證寺所蔵）

帝釈天が受け止め、龍王が冷温の甘露水を注いで清めました。お釈迦さまは四方を見、ハスの花が忽然と咲く中を7歩歩まれ、右手を天に、左手を地に向け、「天にも地にもただ我独り尊し、三界は皆苦なり、吾まさにこれを安んずべし」と仰つたと云ふのです。

「欲界・色界・無色界の三界（迷いの世界）に生きる衆生はみな苦に苛まれています。私（釈尊）は苦の衆生を安んずるためこの世に誕生しました。だから尊いのです。」  
お釈迦さまは、悟りの内容を阿弥陀仏のご本願としてお書きくださいました。そのおかげで私は念佛申すことができ、浄土に参らせていただけたのです。

その様子を描き、礼拝の対象としたものが「釈迦誕生図」です。ルンビニー園の無憂樹の下、九龍から浄水を注がれながら、右手を天、左手で地を指さし「天上天下唯我独尊」と師子吼するお釈迦さまが描かれます。

このお言葉は様々な解釈がされますが、苦の衆生を救済するためといつ、仏の「慈悲」の御心が表されています。

お釈迦さまがお生まれになられなかつたら未來永劫苦から離れられず、六道を彷徨あまがねついていたことあります。

「欲界」  
・  
「色界」  
・  
「無色界」  
の  
三  
界



# ぶつかつ 仏活～教えと出遇う場づくり～

第26組如意寺 荒木 道子  
住所：豊田市力石町黒見175番地

「縫物ぐらぶ」（以上、月1回）  
「着付け教室」（月2回）  
「寺ヨガ」（月6回）

「初参り式&花まつり」  
（お齋と参道のマルシェで、子ども達も楽しく  
お参り）  
「平和の鐘」

「写経の会」  
「己書」

月1回又は複数回開催の仏活

「ご命日の集い」

「三部経を読む会」

「椅子ヨガ」（年2回）

「子育てひろば」（2ヵ月に1回）

「災害救援金」（2～3ヵ月に1回）

「おでらおやつくじぶ支援」

「お年頭」（お抹茶のお振舞と法語選定）

今後の予定

2026年は、学校終了後に小学生から高校生までをお寺で預かる「寺子屋ぶてるん」開校・春秋に「ライブ&交流の場&炊き出し」。

如意寺では、お寺での活動を「仏活」と呼んでいます。

入寺した頃、前住職から「自坊の法要にお参りに来てくださる方が減つてきました」と聞き、子育てしながら私が出来る仏さ

まのお手伝いをしようと思いました。まず息子の入園を機に毎月1回「寺報」の作成を始めました。

（遠方は郵送）、会話する中で、門徒さんの

興味のある事をヒントに「仏活」を始めました。

仏活は、合掌で始まり合掌で終わります。仏活に参加された方々は、開山忌・祠堂法要・報恩講のお参りや法要のお勝手やお華束作り

を楽しみながら参加してください。

これからもお淨土と皆様を取り持つ御縁づくりの場「仏活」を楽しみながら作って行きたいと思います。

## 数か月に1度開催の仏活

「椅子ヨガ」（年2回）  
「子育てひろば」（2ヵ月に1回）

「おでらおやつくじぶ支援」  
（2～3ヵ月に1回）

「災害救援金」（2～3ヵ月に1回）  
「お年頭」（お抹茶のお振舞と法語選定）

「報恩講参道マルシェ」  
「除夜の鐘・修正会」

（くじ引きと豚汁のお振舞い）

「平和の鐘」（お齋と参道のマルシェで、子ども達も楽しくお参り）

## 年1回開催の仏活

「ほとけの子の集い」  
（2ヵ月に1回）

「春休み・写生大会&防災クッキング」  
（2ヵ月に1回）

「夏休み・お勤めのお稽古・最終日にお楽しみ会として流し素麺、前日にお泊り会をしてドラム缶風呂。冬休み・報恩講・お餅つき・ワーケーション」  
（2ヵ月に1回）

「二門松・腕輪念珠・お正月リース・みたらし団子作り・防災食作り体験。」  
（2ヵ月に1回）

## 不定期開催の仏活

「寺カフェ&仏典童話朗読」  
（2ヵ月に1回）

「竹行灯作り」  
（2ヵ月に1回）

「ハスワーク」  
（2ヵ月に1回）

「和蠟燭に絵付け」  
（2ヵ月に1回）

「バスワーク」  
（2ヵ月に1回）

「お内仏の打敷作り」  
（2ヵ月に1回）

「念珠作り（略式念珠と房タイプ）」  
（2ヵ月に1回）

「念珠入れ&お勤め本入れ作り」  
（2ヵ月に1回）

「カゴバック作り」  
（2ヵ月に1回）

「写仏」  
（2ヵ月に1回）

「お内仏の打敷作り」  
（2ヵ月に1回）

「ペーパークラフトを使つてお内仏のお給仕」  
（2ヵ月に1回）

「本堂でのアフリカンミュージックライブ」  
（2ヵ月に1回）

「着物のリメイクで打敷作り」  
（2ヵ月に1回）



ドラム缶風呂



お勤めのお稽古



子育てひろば



着物のリメイクで打敷作り

# 岡崎教区 青少幼年教化通信



六ツ美組  
碧海文俊  
あおみ ふみこ

住所：岡崎市下青野町字柳原10番地

六ツ美組は組で「少年少女の集い」という児童教化事業を行っています。組内寺院である慈光寺の碧海文俊さんにお話を伺いました。

一六ツ美組少年少女の集いはいつからされているのですか？

1972年からです。今年で53回目になります。私の父親世代の住職方が始めたと聞いています。当時組内で日曜学校をしていた寺院が多かったこと、組内住職で教区の児童教化連盟に関わっていた方がいたことで活動が始まつたようです。私も小学生の頃に参加していました。

一会の内容はどのようなものですか？

基本的に組内の若院がスタッフとして運営しています。小学4年生から中学3年生を対象に、12月を除く10月から3月までの期間に月1回、日曜日に1時間程度行っています。正信偈のお勤めとお釈迦さまや親鸞聖人のお話ををして、その後皆で遊べるようなゲームをします。3月には本山参拝を含む旅行に行きます。参加者には女の子もいるので、旅行には坊守さんにも協力していただいています。

一参加者として、またスタッフとして関わって来られましたが、活動についてどう思われていますか？

参加者だった頃は京都に行けるのが楽しかったです。

夜に新京極に連れて行つてもらつたり、五山の送り火を見た記憶もあります。

スタッフとして関わるようになつてから印象深いのは参加者が少なかつた時期のことです。参加者が10人程度、スタッフも2人だつたのですが、少ない人数だからできることを工夫してやつっていました。また、人数が少なくても本山へは必ず行つていました。

少年少女の集いでは岡崎教区児童教化連盟が作っている『ほとけの子』という本を使つているのですが、この本の作成にも六ツ美組の方が関わっていました。児童教化に対する思いを感じます。

歴史の長い事業ですので、かつて参加してくれた方の子どもが参加してくれることもあります。今後もお寺に親しんでもらえるように活動を続けていきたいです。

## 《子ども会相談室》について

教区教化委員会の青少幼年教化部会は、教区内寺院の子ども会設立・充実を支援する「子ども会相談室」という事業を行つております。「子ども会を始めてみたい」「子ども会について相談したい」という寺院を随時募集しておりますので、ご興味のある方は教務所までご一報ください。

## 〈岡崎教区青少幼年教化通信について〉

このページは教区教化委員会の青少幼年教化部会に協力いたしています。部会は、活動の一環として寺院での青少幼年教化の取り組みを取材しており、「岡崎教区青少幼年教化通信」は、その内容をまとめたものです。今後もさまざまな活動事例を紹介してまいります。



お寺での活動のようす



本山参拝のようす

# みんなの掲示板 おいでんみりん

日 日時 会 会場 講 講師 内 内容 テ テーマ 持 持ち物 費 参加費 対 対象 問 問合せ

## 教 区

### 「是施陀羅」に関する

#### 課題を学ぶ教区学習会

日 ① 12月4日(木)終了

② 1月14日(水)

③ 2月4日(水)

④ 3月30日(月)

14時～16時30分

講 ① 中山 量純 氏

(解放運動推進本部本部委員)

② 名和 達宣 氏(教学研究所所員)

③ 鶴見 晃 氏(同朋大学教授)

内 净土真宗の正依の経典である『觀無

量寿經』についての「是施陀羅」の語

に関する課題を学ぶ

費 無料

持 是施陀羅問題学習テキスト『御同朋を生きる』(お持ちでない方は

教務所までご一報ください)、

『真宗聖典』

会 問 岡崎教務所

0564-222-2136

## 団 体

### 「得度研修会」

日 2月14日(土)10時～16時30分

4月3日(金)9時45分～15時

※2回ともご参加ください

費 1回2,000円

※詳細は『教区通信』11月号同封の

開催案内をご確認ください

※参加申し込みの締め切りは過ぎて  
おります

あります

講 上野 瞭氏(第2組專光寺)  
テ 『仏説觀無量壽經』を読む  
費 3,000円(年間)  
内 未定  
問 岡崎教務所  
会 問 岡崎教務所  
0564-222-2136

地 域

## 東三河地域教化センター

### 声明研究会

#### 「講習会」

日 1月9日(金)10時30分～16時30分

講 辻子 実氏(元神奈川大学非文学

資料研究センター研究協力者)

内 靖国神社等を見学し、靖国問題に

ついて学ぶ

会 岡崎教務所

内 御經・音木

### 「聖教学習会 歎異抄に聞く」

#### 「聖教学習会」

日 1月23日(金)14時～16時

講 平原 晃宗氏(大谷中・高等学校

宗教科講師、京都教区正蓮寺)

テ 『歎異抄』第15条

費 500円

持 『真宗聖典』、念珠、間衣(有僧籍者)

会 豊橋別院

内 未定

問 岡崎教務所

内 未定

会 岡崎教務所

内 未定

会 岡崎教務所

内 未定

会 岡崎教務所

内 未定

会 岡崎教務所

内 未定

### 「靖国問題現地学習会」

#### 「靖国問題現地学習会」

日 1月9日(金)10時30分～16時30分

講 辻子 実氏(元神奈川大学非文学

資料研究センター研究協力者)

内 靖国神社等を見学し、靖国問題に

ついて学ぶ

会 岡崎教務所

内 未定

会 岡崎教務所

### 「親鸞教室」

#### 「第1回 公開講習会」

日 4月28日(火)14時～16時

講 村上奈津子(大阪教区超願寺)

内 未定

会 岡崎教務所

### 「聖教学習会」

#### 「聖教学習会 歎異抄に聞く」

日 1月16日(金)14時～16時

講 平原 晃宗氏(大谷中・高等学校

宗教科講師、京都教区正蓮寺)

テ 『歎異抄』第15条

費 500円

持 『真宗聖典』、念珠、間衣(有僧籍者)

会 豊橋別院

内 未定

問 岡崎教務所

内 未定

会 岡崎教務所

内 未定

会 岡崎教務所

内 未定

会 岡崎教務所

内 未定

会 岡崎教務所

内 未定

### 「聖教学習会」

#### 「聖教学習会 歎異抄に聞く」

日 1月16日(金)14時～16時

講 平原 晃宗氏(大谷中・高等学校

宗教科講師、京都教区正蓮寺)

テ 『歎異抄』第15条

費 500円

持 『真宗聖典』、念珠、間衣(有僧籍者)

会 豊橋別院

内 未定

問 岡崎教務所

内 未定

会 岡崎教務所

内 未定

会 岡崎教務所

内 未定

会 岡崎教務所

内 未定

会 岡崎教務所

内 未定

### 「聖教学習会」

#### 「聖教学習会 歎異抄に聞く」

日 1月16日(金)14時～16時

講 平原 晃宗氏(大谷中・高等学校

宗教科講師、京都教区正蓮寺)

テ 『歎異抄』第15条

費 500円

持 『真宗聖典』、念珠、間衣(有僧籍者)

会 豊橋別院

内 未定

問 岡崎教務所

内 未定

会 岡崎教務所

内 未定

会 岡崎教務所

内 未定

会 岡崎教務所

内 未定

会 岡崎教務所

内 未定

### 「聖教学習会」

#### 「聖教学習会 歎異抄に聞く」

日 1月16日(金)14時～16時

講 平原 晃宗氏(大谷中・高等学校

宗教科講師、京都教区正蓮寺)

テ 『歎異抄』第15条

費 500円

持 『真宗聖典』、念珠、間衣(有僧籍者)

会 豊橋別院

内 未定

問 岡崎教務所

内 未定

会 岡崎教務所

内 未定

会 岡崎教務所

内 未定

会 岡崎教務所

内 未定

会 岡崎教務所

内 未定

### 「聖教学習会」

#### 「聖教学習会 歎異抄に聞く」

日 1月16日(金)14時～16時

講 平原 晃宗氏(大谷中・高等学校

宗教科講師、京都教区正蓮寺)

テ 『歎異抄』第15条

費 500円

持 『真宗聖典』、念珠、間衣(有僧籍者)

会 豊橋別院

内 未定

問 岡崎教務所

内 未定

会 岡崎教務所

内 未定

会 岡崎教務所

内 未定

会 岡崎教務所

内 未定

会 岡崎教務所

内 未定

### 「聖教学習会」

#### 「聖教学習会 歎異抄に聞く」

日 1月16日(金)14時～16時

講 平原 晃宗氏(大谷中・高等学校

宗教科講師、京都教区正蓮寺)

テ 『歎異抄』第15条

費 500円

持 『真宗聖典』、念珠、間衣(有僧籍者)

会 豊橋別院

内 未定

問 岡崎教務所

内 未定

会 岡崎教務所

内 未定

会 岡崎教務所

内 未定

会 岡崎教務所

内 未定

会 岡崎教務所

内 未定

### 「聖教学習会」

#### 「聖教学習会 歎異抄に聞く」

日 1月16日(金)14時～16時

講 平原 晃宗氏(大谷中・高等学校

宗教科講師、京都教区正蓮寺)

テ 『歎異抄』第15条

費 500円

持 『真宗聖典』、念珠、間衣(有僧籍者)

会 豊橋別院

内 未定

問 岡崎教務所

内 未定

会 岡崎教務所

内 未定

会 岡崎教務所

内 未定

会 岡崎教務所

内 未定

会 岡崎教務所

内 未定

## 【MAST】表紙写真募集のお知らせ

岡崎教区HP  
リニューアルについて

## 編集後記

この身に受けているいのちは、  
限りないつながりと、限りない  
関わりのうえに賜っている

宮城 頽

みやぎ しづか  
宮城 頽

1931年(昭和6年)~2008年(平成20年)  
京都府に生まれる。大谷専修学院講師、  
教学研究所所員、真宗教学研究所所長  
を歴任。

法  
語

『MAST』は年3回、1・5・9月に発行  
しており、表紙写真を教区の皆さんから募集  
しております。

次号第16号は5月の発行となります。写真  
撮影が趣味の方、ぜひお持ちの写真をご提供  
ください。お待ちしております。  
※都合上、提供いただいた写真を使用できな  
い場合もございます。

### 【提供方法】

岡崎教務所のメールアドレス：

okazaki@

higashihonganji.

or.jp 完てに写真の  
データを添付して  
ご送付ください。



これまでの表紙写真

このたび、岡崎教  
区HPをリニューア  
ルいたしました。ス  
マホ画面への対応、  
各種申請書等のダウ  
ンロードなど、より  
利用しやすいHPと  
なりました。教区の  
様々な情報も掲載し  
ていきますので、ぜ  
ひご活用ください。

先日、SNSで奈良公園の鹿が話題になっていた。「外  
国人観光客が鹿を蹴った、外国人はけしからん」という。  
外国人観光客が鹿を蹴ったという事実があったのかもしれない  
が、もちろんほんの一部の事であろう。日本人だって  
蹴るかもしれない。鹿に襲われたのか、どういう状況だつ  
たのかも判らない。京都や奈良に行くと外国人観光客の多  
さには驚かされる。そんな中で出てきた話題である。上智  
大学の佐藤教授は、今の社会を「情動社会」と呼んでいる。  
SNSでの情報発信は、真偽や理性的な対話は脇に置かれ  
る。そこでは「快」か「不快」かにより選別され、心地良  
い情報が拡散する。情報の多様性が失われ、考え方や視野  
が狭まってしまうことに注意しなければと自戒する。  
MASTも広く話題を扱いたいと考えています。皆さん  
からのご意見やご要望をお寄せください。(編集:あおみ)

※この法語は『田めぐり法語 一語一題』(東本願寺出版)より抜粋しました。



岡崎教区教化テーマ

岡崎教務所 ☎ 0564-22-2136



岡崎教区ホームページ



岡崎教区facebook



岡崎教区 LINE



### みなさまの声をお聞かせください

『MAST』に対するご意見、ご要望をお寄せください。  
下記メールアドレスにて受け付けております。より多くの  
方に、手に取っていただける広報誌にするためにみなさまのご協力を  
お願いします。岡崎教務所 (MAST担当) [okazaki@higashihonganji.or.jp](mailto:okazaki@higashihonganji.or.jp)